

ワークショップ

親子でたのしむ子守唄と絵本

「泣き止まない子どもを上手にあやすにはどうしたらいいの？」
「赤ちゃんといっしょに絵本を読みたいけれど、どんなふうにしたらいいのかわからない…」

今、子育て真っ最中のお母さん・お父さん、こんな悩みをかかえていませんか？
今回、梅花女子大学児童文学・絵本センターでは、茨木市の子育てサークル「ふくろう広場」のご協力の下、子守唄と絵本のワークショップを開催することになりました。子守唄や絵本は聞き手である子どもだけでなく、歌い手（語り手）であるお母さん・お父さんにも安らぎやいやしを与えてくれる魔法の力を持っています。子どもたちと一緒に、ゆったりとした時間をすごしてみませんか？

2009.1.16（金） 茨木市耳原公民館（茨木市耳原 2-18-4）
10:30 - 12:00

講師 落合美知子さん

対象 0歳～3歳ぐらいの子どもとお母さん・お父さん（約20組）

参加無料（ただし予約が必要です）。床に敷くバスタオルをご用意ください。
また見学のみの参加も歓迎します。早めにお申込ください。
駐車スペースがわずかしかないのでお車でのご来場はできるだけお控えください。

<講師 落合美知子さんのプロフィール>

児童図書研究家、厚生労働省審議会専門委員（児童図書関係）

1968年より東京都の公共図書館勤務を経て、各地で子ども文庫、おはなし会を創設。伊藤忠子ども文庫功労賞受賞。おはなし、絵本、わらべうたの実践や講座・講演を担当しつつ、子どもと本の出会いの場をつくっている。主な著書『いい家庭にはものがたりが生れる』、『美しいのちからものがたりが生れる』（ともにエイデル研究所）。

主催：梅花女子大学児童文学・絵本センター

平成20年度科学研究費補助金（基盤研究C）対象実践研究活動

予約申込先：梅花女子大学児童文学・絵本センター 鵜野祐介まで
(tel.072-643-6221 e-mail:uno@baika.ac.jp)
*「ふくろう広場」の方は中内様までお申し込みください。